

運用報告書 (全体版)

USストラテジック・インカム・ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	2013年3月8日から2028年2月24日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	円建て外国投資信託である「DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス」の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託であるDIAMマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資します。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日(原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：債券王

第132期	<決算日	2024年3月25日>
第133期	<決算日	2024年4月23日>
第134期	<決算日	2024年5月23日>
第135期	<決算日	2024年6月24日>
第136期	<決算日	2024年7月23日>
第137期	<決算日	2024年8月23日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「USストラテジック・インカム・ファンド Bコース (為替ヘッジなし)」は、2024年8月23日に第137期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

USストラテジック・インカム・ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資組 入	信託 証券 比率	純資 産 総額
		(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率			
第19作成期	108期(2022年3月23日)	円 7,406	円 50	% 2.0	% 98.5	百万円 7,307	
	109期(2022年4月25日)	7,600	50	3.3	98.7	7,388	
	110期(2022年5月23日)	7,501	50	△0.6	98.3	7,170	
	111期(2022年6月23日)	7,762	25	3.8	98.2	7,352	
	112期(2022年7月25日)	7,914	25	2.3	98.5	7,193	
	113期(2022年8月23日)	7,873	25	△0.2	98.3	7,093	
第20作成期	114期(2022年9月26日)	7,850	25	0.0	98.3	7,071	
	115期(2022年10月24日)	7,952	25	1.6	98.3	7,066	
	116期(2022年11月24日)	7,733	25	△2.4	97.8	6,833	
	117期(2022年12月23日)	7,314	25	△5.1	98.1	6,433	
	118期(2023年1月23日)	7,286	25	△0.0	98.2	6,474	
第21作成期	119期(2023年2月24日)	7,383	25	1.7	98.1	7,296	
	120期(2023年3月23日)	7,383	25	0.3	98.5	7,267	
	121期(2023年4月24日)	7,439	25	1.1	97.9	7,425	
	122期(2023年5月23日)	7,579	25	2.2	98.1	7,611	
	123期(2023年6月23日)	7,766	25	2.8	98.1	7,718	
	124期(2023年7月24日)	7,708	25	△0.4	97.8	7,604	
第22作成期	125期(2023年8月23日)	7,698	25	0.2	98.1	7,966	
	126期(2023年9月25日)	7,776	25	1.3	97.9	7,977	
	127期(2023年10月23日)	7,591	25	△2.1	98.5	7,733	
	128期(2023年11月24日)	7,895	25	4.3	97.7	8,024	
	129期(2023年12月25日)	7,822	25	△0.6	98.3	7,813	
	130期(2024年1月23日)	8,048	25	3.2	98.1	8,052	
第23作成期	131期(2024年2月26日)	8,074	25	0.6	98.0	8,542	
	132期(2024年3月25日)	8,195	25	1.8	98.1	8,669	
	133期(2024年4月23日)	8,146	25	△0.3	98.0	8,701	
	134期(2024年5月23日)	8,368	25	3.0	98.8	8,867	
	135期(2024年6月24日)	8,619	25	3.3	98.6	9,056	
	136期(2024年7月23日)	8,501	25	△1.1	98.0	8,887	
	137期(2024年8月23日)	8,129	25	△4.1	98.1	8,473	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

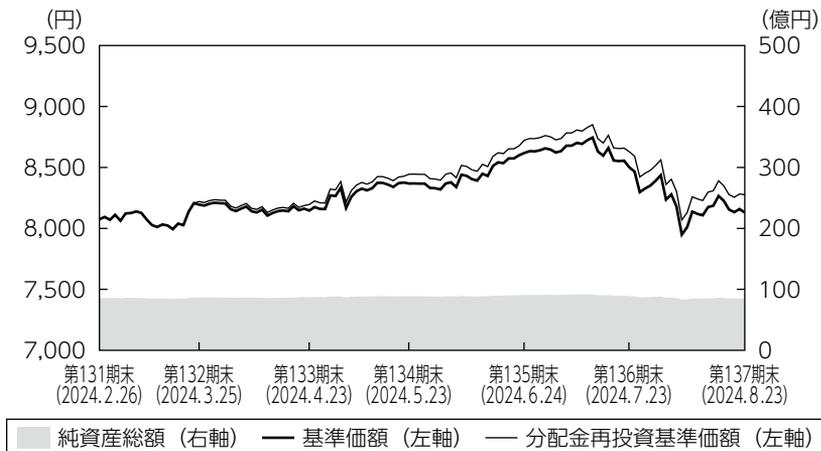
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投資信託受益証券組入比率
第132期	(期首) 2024年2月26日	円 8,074	%	-	% 98.0
	2月 末	8,111		0.5	97.8
	(期末) 2024年3月25日	8,220		1.8	98.1
第133期	(期首) 2024年3月25日	8,195		-	98.1
	3月 末	8,206		0.1	98.1
	(期末) 2024年4月23日	8,171		△0.3	98.0
第134期	(期首) 2024年4月23日	8,146		-	98.0
	4月 末	8,271		1.5	97.9
	(期末) 2024年5月23日	8,393		3.0	98.8
第135期	(期首) 2024年5月23日	8,368		-	98.8
	5月 末	8,319		△0.6	98.8
	(期末) 2024年6月24日	8,644		3.3	98.6
第136期	(期首) 2024年6月24日	8,619		-	98.6
	6月 末	8,657		0.4	98.6
	(期末) 2024年7月23日	8,526		△1.1	98.0
第137期	(期首) 2024年7月23日	8,501		-	98.0
	7月 末	8,436		△0.8	98.0
	(期末) 2024年8月23日	8,154		△4.1	98.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第132期～第137期の運用経過（2024年2月27日から2024年8月23日まで）

基準価額等の推移



第132期首： 8,074円
 第137期末： 8,129円
 （既払分配金150円）
 騰落率： 2.5%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

債券部分は、米国債利回りが低下（価格は上昇）し、信用スプレッドが拡大した環境下、国債、証券化商品などを組入れたことがプラス寄与となりました。一方、為替部分は、日米金融当局の政策スタンスの違いから、米ドルが対円で下落しマイナス寄与となりましたが、債券部分のプラス寄与が上回り、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス	3.0%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

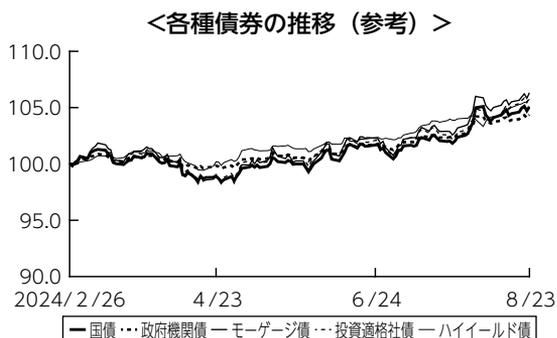
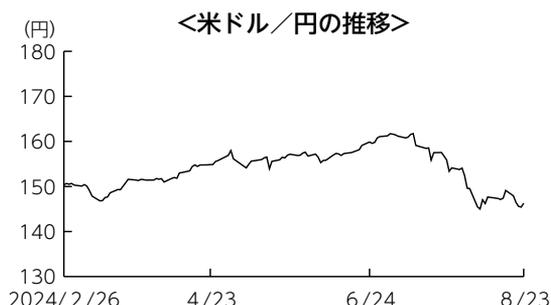
- (注) D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

米国債券市場は10年国債利回りが前作成期末比で低下しました。作成期前半、米労働需給の過熱感が解消されず、F R B（米連邦準備理事会）の利下げ期待が後退し、10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。その後、米雇用統計やC P I（消費者物価指数）の伸び鈍化などを受けて、徐々に低下に転じました。作成期後半は、米景気の減速感が強まったことでF R Bの利下げ期待が再び高まったことや世界的に株式市場が大幅に下落したことから、市場がリスク回避的な動きとなり、10年国債利回りも低下幅を拡大し、作成期末を迎えました。

為替市場では、作成期前半は、日銀がゼロ金利政策を解除したものの、日銀が量的緩和政策を維持したことや米労働需給の過熱感が解消されず、F R Bの利下げ期待が後退したことから、米ドルは対円で上昇しました。その後、米インフレの鈍化や米景気減速感の強まりを受けて、F R Bの利下げ期待が再度、強まったことや日銀が追加利上げを実施したことから、米ドルは対円で大幅に下落し、前作成期末を下回る水準で作成期末を迎えました。

国内短期金融市場では、作成期初は、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除し、さらに7月に政策金利を0.25%に引き上げたことから同利回りはプラス圏に上昇しました。



※前作成期末の値を100として指数化しています。

※上記の各種債券として使用している債券指数は以下の通りです。

国債：ブルームバーグ・米国国債インデックス

政府機関債：ブルームバーグ・米国政府機関債インデックス

モーゲージ債：ブルームバーグ・米国MBSインデックス

投資適格社債：ブルームバーグ・米国社債インデックス

ハイイールド債：ブルームバーグ・米国ハイイールド社債インデックス

※「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国国債インデックス、ブルームバーグ・米国政府機関債インデックス、ブルームバーグ・米国MBSインデックス、ブルームバーグ・米国社債インデックス、ブルームバーグ・米国ハイイールド社債インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

ポートフォリオについて

●当ファンド

D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス

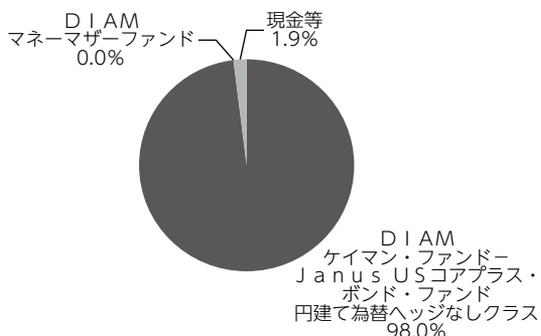
インフレ鈍化とF R Bの早期利下げ開始期待の高まり、米国景気減速への懸念などを受けて、前作成期末対比で国債の比率を引き上げました。社債セクターでは、投資適格社債は作成期初以来、クレジット・スプレッド（米国債と社債の利回り格差）が大幅に縮小し、割高感が強まったことから比率を引き下げ、相対的に割安感があるハイイールド債の比率を引き上げました。証券化商品セクターでは、M B S（モーゲージ債）、C M O（不動産抵当証券担保債券）およびA B S（資産担保証券）の比率を引き下げた一方、C L O（ローン担保証券）およびC M B S（商業用不動産担保証券）の比率を引き上げました。

●D I A Mマネーマザーファンド

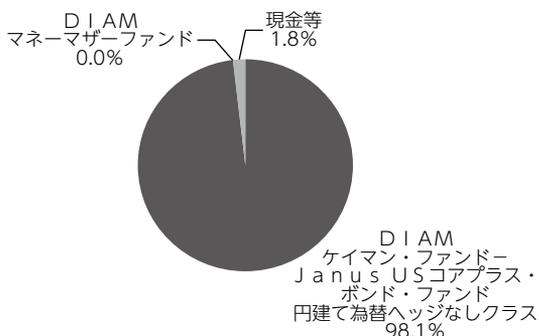
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2024年2月27日 ～2024年3月25日	2024年3月26日 ～2024年4月23日	2024年4月24日 ～2024年5月23日	2024年5月24日 ～2024年6月24日	2024年6月25日 ～2024年7月23日	2024年7月24日 ～2024年8月23日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.30%	0.31%	0.30%	0.29%	0.29%	0.31%
当期の収益	25円	25円	25円	25円	25円	25円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,560円	2,561円	2,567円	2,573円	2,574円	2,575円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス

米景気の減速感が強まる環境下、インフレ率がF R Bの目標値に近づきつつあることから2024年9月のF O M C（米連邦公開市場委員会）で利下げを開始する可能性が高いと見ています。景気悪化時にF R Bが利下げにより景気浮揚を図る余地があるため、クレジットの見通しは概ねポジティブと見ていますが、信用スプレッドが過去平均よりもタイトである点には、留意しています。一方、A B S、C M B S等の証券化商品は相対的に割安感があり、投資妙味が高いと考えます。今後も元本保全を重視したポートフォリオを維持しつつ、リスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

●D I A Mマネーマザーファンド

日銀は2024年7月の金融政策決定会合で、長期国債買入の減額と政策金利の0.25%への引き上げを決定しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、そのペースは緩やかなものになると想定され、金利は引き続き安定的に推移することが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第132期～第137期 (2024年2月27日 ～2024年8月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	33円	
(投信会社)	(11)	(0.134)	
(販売会社)	(20)	(0.242)	
(受託会社)	(2)	(0.021)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	33	0.399	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

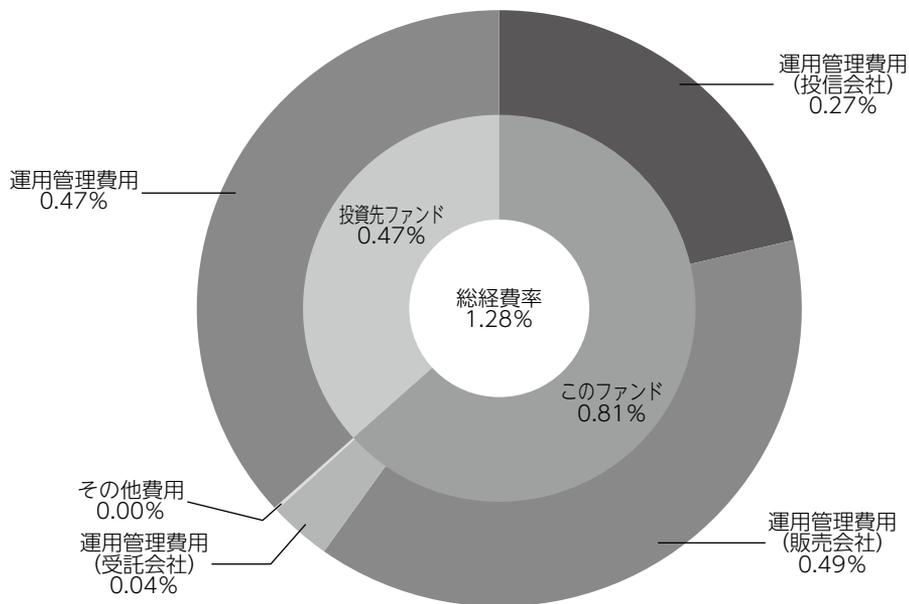
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.28%です。



総経費率 (①+②)	1.28%
①このファンドの費用の比率	0.81%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.47%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年2月27日から2024年8月23日まで）

投資信託受益証券

		第 132 期		第 137 期	
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	DIAMケイマン・ファンドー Janus USコアプラス・ ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス	9.87621	75,000	23.9	189,714

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年2月27日から2024年8月23日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2024年2月27日から2024年8月23日まで）

【USストラテジック・インカム・ファンド Bコース（為替ヘッジなし）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【DIAMマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	第 132 期			第 137 期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 5,917	百万円 1,099	% 18.6	百万円 1,019	百万円 -	% -

平均保有割合 0.1%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第22作成期末	第 23 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
DIAMケイマン・ファンド-Janus USコアプラス・ ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしグラス	1,109.06885	1,095.04506	8,316,867	98.1
合 計	1,109.06885	1,095.04506	8,316,867	98.1

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第22作成期末	第 23 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	1,987	1,987	1,998

■投資信託財産の構成

2024年8月23日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	8,316,867	97.7
D I A M マネーマザーファンド	1,998	0.0
コール・ローン等、その他	189,790	2.2
投資信託財産総額	8,508,655	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年3月25日)、(2024年4月23日)、(2024年5月23日)、(2024年6月24日)、(2024年7月23日)、(2024年8月23日)現在

項 目	第 132 期 末	第 133 期 末	第 134 期 末	第 135 期 末	第 136 期 末	第 137 期 末
(A) 資 産	8,721,060,543円	8,737,566,995円	8,917,092,609円	9,095,730,758円	8,928,821,619円	8,508,655,869円
コール・ローン等	218,049,597	212,564,063	157,111,812	167,327,385	125,169,837	189,790,229
投資信託受益証券(評価額)	8,501,012,735	8,523,004,522	8,757,982,984	8,926,404,963	8,706,703,272	8,316,867,230
DIAMマネーマザーファンド(評価額)	1,998,211	1,998,410	1,997,813	1,998,410	1,998,410	1,998,410
未 収 入 金	-	-	-	-	94,950,100	-
(B) 負 債	51,795,728	36,328,397	49,831,915	39,032,362	41,325,948	34,793,987
未払収益分配金	26,446,083	26,702,640	26,491,486	26,270,269	26,137,959	26,060,129
未払解約金	20,013,818	4,013,439	17,420,710	6,389,008	9,307,747	2,768,030
未払信託報酬	5,316,657	5,592,153	5,898,447	6,350,187	5,859,118	5,944,393
その他未払費用	19,170	20,165	21,272	22,898	21,124	21,435
(C) 純資産総額(A-B)	8,669,264,815	8,701,238,598	8,867,260,694	9,056,698,396	8,887,495,671	8,473,861,882
元 本	10,578,433,497	10,681,056,071	10,596,594,578	10,508,107,894	10,455,183,916	10,424,051,708
次期繰越損益金	△1,909,168,682	△1,979,817,473	△1,729,333,884	△1,451,409,498	△1,567,688,245	△1,950,189,826
(D) 受益権総口数	10,578,433,497口	10,681,056,071口	10,596,594,578口	10,508,107,894口	10,455,183,916口	10,424,051,708口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,195円	8,146円	8,368円	8,619円	8,501円	8,129円

(注) 第131期末における元本額は10,580,352,801円、当作成期間(第132期～第137期)中における追加設定元本額は299,290,455円、同解約元本額は455,591,548円です。

■損益の状況

〔自 2024年2月27日 至 2024年3月25日〕〔自 2024年3月26日 至 2024年4月23日〕〔自 2024年4月24日 至 2024年5月23日〕〔自 2024年5月24日 至 2024年6月24日〕〔自 2024年6月25日 至 2024年7月23日〕〔自 2024年7月24日 至 2024年8月23日〕

項 目	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期
(A) 配 当 等 収 益	33,141,168円	33,226,551円	33,509,677円	33,148,354円	33,140,926円	32,812,628円
受 取 配 当 金	33,140,498	33,216,120	33,499,714	33,139,785	33,133,680	32,783,007
受 取 利 息	1,422	10,431	9,963	8,569	7,246	29,621
支 払 利 息	△752	-	-	-	-	-
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	126,507,277	△52,819,824	233,669,348	262,753,333	△124,716,577	△387,623,457
売 買 益	126,685,976	166,653	234,978,462	263,259,038	149,185	2,159,546
売 買 損	△178,699	△52,986,477	△1,309,114	△505,705	△124,865,762	△389,783,003
(C) 信 託 報 酬 等	△5,335,827	△5,612,318	△5,919,719	△6,373,085	△5,880,242	△5,965,828
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	154,312,618	△25,205,591	261,259,306	289,528,602	△97,455,893	△360,776,657
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,394,836,730	△1,262,669,665	△1,301,680,133	△1,056,136,246	△788,288,489	△906,682,095
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△642,198,487	△665,239,577	△662,421,571	△658,531,585	△655,805,904	△656,670,945
(配 当 等 相 当 額)	(2,025,152,935)	(2,054,070,880)	(2,039,128,404)	(2,023,329,152)	(2,013,654,234)	(2,009,511,056)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,667,351,422)	(△2,719,310,457)	(△2,701,549,975)	(△2,681,860,737)	(△2,669,460,138)	(△2,666,182,001)
(G) 合 計 (D+E+F)	△1,882,722,599	△1,953,114,833	△1,702,842,398	△1,425,139,229	△1,541,550,286	△1,924,129,697
(H) 収 益 分 配 金	△26,446,083	△26,702,640	△26,491,486	△26,270,269	△26,137,959	△26,060,129
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△1,909,168,682	△1,979,817,473	△1,729,333,884	△1,451,409,498	△1,567,688,245	△1,950,189,826
追 加 信 託 差 損 益 金	△642,198,487	△665,239,577	△662,421,571	△658,531,585	△655,805,904	△656,670,945
(配 当 等 相 当 額)	(2,025,152,935)	(2,054,070,880)	(2,039,128,404)	(2,023,329,152)	(2,013,654,234)	(2,009,511,056)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,667,351,422)	(△2,719,310,457)	(△2,701,549,975)	(△2,681,860,737)	(△2,669,460,138)	(△2,666,182,001)
分 配 準 備 積 立 金	683,337,157	681,929,318	681,514,636	680,795,600	677,977,712	674,898,158
繰 越 損 益 金	△1,950,307,352	△1,996,507,214	△1,748,426,949	△1,473,673,513	△1,589,860,053	△1,968,417,039

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期
(a) 経費控除後の配当等収益	32,033,455円	27,614,278円	32,767,438円	32,434,691円	27,260,726円	26,846,923円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	2,025,152,935	2,054,070,880	2,039,128,404	2,023,329,152	2,013,654,234	2,009,511,056
(d) 分 配 準 備 積 立 金	677,749,785	681,017,680	675,238,684	674,631,178	676,854,945	674,111,364
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	2,734,936,175	2,762,702,838	2,747,134,526	2,730,395,021	2,717,769,905	2,710,469,343
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,585.39	2,586.54	2,592.47	2,598.37	2,599.45	2,600.21
(g) 分 配 金	26,446,083	26,702,640	26,491,486	26,270,269	26,137,959	26,060,129
(h) 1万口当たり分配金	25	25	25	25	25	25

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期
1 万口当たり分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド

<円建て為替ヘッジありクラス>

<円建て為替ヘッジなしクラス>

当ファンドは「USストラテジック・インカム・ファンド」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍円建て外国投資信託
主 要 投 資 対 象	米ドル建て米国債券 ^(*) を主要投資対象とします。 (*) 主要投資対象となる米ドル建て米国債券の主な債券種類は、米国の国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債等です。なお、米ドル建て非米国社債等に投資する場合があります。
投 資 態 度	①主として米ドル建て米国債券への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ・「ブルームバーク・米国総合インデックス」 ^(注) をベンチマークとし、ベンチマークを上回る成果をめざします。 ・企業ファンダメンタルズに基づくクレジット・リサーチにより、銘柄選択を行います。 ・各種債券セクターへの投資比率を機動的に変更します。 ②ポートフォリオのデュレーションは、ベンチマーク対比で125%から60%の範囲を目安とします。 ③投資する証券の平均格付 ^(*) は、BBB-格相当以上とします。 (*) 平均格付は時価加重平均で判定します。 ④ハイイールド債券 ^(*) への投資は、取得時において信託財産の純資産総額の35%以内とします。 (*) ハイイールド債券とは、格付会社3社のうち1社以上によって、BB+格相当以下に格付されている債券をさします。 ⑤同一発行体の発行する債券への投資は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。ただし、米国内債、米国政府機関債、およびモーゲージ債を除きます。なお、同一の政府支援機関が発行または保証等を行う債券（モーゲージ債を含みます。）への投資は、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ⑥原則として、現金および現金等価物への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ⑦組入外貨建資産については、円建て為替ヘッジありクラスでは、原則として米ドル売り円買いによる対円での為替ヘッジを行います。円建て為替ヘッジなしクラスでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ⑧デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。米国債先物をファンド全体のデュレーション・コントロールに活用する場合等があります。 ⑨ジャナス・ハンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。 (注) 「Bloomberg [®] 」およびブルームバーク・米国総合インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「B I S L」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーク」)のサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバークはアセットマネジメントOne株式会社とは提携しておらず、また、DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジありクラス、DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバークは、DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジありクラス、DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
主 な 投 資 制 限	①原則として、株式への投資は行いません。(ただし、コーポレートアクション等により取得した場合、可能な限り速やかに売却することとします。) ②転換社債への投資は可としますが、原則として株式への転換は不可とします。 ③有価証券の空売りは行いません。 ④流動性に欠ける資産への投資は、信託財産の純資産総額の15%を超えないものとします。 ⑤信託財産の純資産総額の10%を超える借入は行いません。 ⑥投資信託証券(上場投資信託証券を含みます。)への投資は行いません。 ⑦金融商品取引法上の有価証券および有価証券関連デリバティブ取引への投資比率は信託財産総額の50%以上とします。
投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne株式会社
副 投 資 顧 問 会 社	ジャナス・ハンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー
受 託 会 社	CIBC カリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー (ケイマン) リミテッド
管 理 事 務 代 行 会 社	ルクセンブルグみずほ信託銀行
保 管 銀 行	米国みずほ銀行

DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2023年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2023年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（Janus USコアプラス・ボンド・ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

運用計算書
2023年12月31日 期（2023年12月31日終了）

	日本円
投資損益の部	
債券利息	1,582,200,656
投資有価証券における額面超過分の償却と割引分の差額利益の純額	(342,954,836)
投資有価証券払戻による損失	(148,812,863)
収益合計	1,090,432,957
費用の部	
投資運用報酬	107,160,876
管理事務報酬	24,066,924
保管報酬	18,302,415
受託報酬	3,753,681
専門報酬	5,540,277
その他費用	4,376,516
費用合計	163,200,689
純投資収益	927,232,268
投資有価証券売却による実現純利益	1,685,004,335
為替先渡契約による実現純損失	(219,704,839)
先物契約による実現純損失	(269,248,146)
外貨取引による実現純利益	71,877,224
期中実現純利益額	1,267,928,574
投資有価証券による未実現損益の純変動	1,448,712,891
為替先渡契約による未実現純損益の変動	(30,231,021)
先物契約による未実現純損益の変動	186,646,837
外貨取引による未実現純損益の変動	17,084,160
期中未実現増加分の純変動額	1,622,212,867
運用による純資産の純増	3,817,373,709

	発行済受益権口数	一口当たり純資産価額 (日本円)
クラス MJPHDJPY	177,477.51	6,263
クラス MUNHDJPY	1,049,806.64	7,282
クラス NJPHDJPY	100,000.00	9,306
クラス NUNHDJPY	848,473.99	13,805
クラス SUNHDJPY	880,876.95	12,961

(注) DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンドは複数のクラスで構成されています。上記のクラスMJPHDJPYは、「USストラテジック・インカム・ファンドAコース（為替ヘッジあり）」が投資する日本円建て日本円ヘッジあり・毎月決算クラス、クラスMUNHDJPYは、「USストラテジック・インカム・ファンドBコース（為替ヘッジなし）」が投資する日本円建て為替ヘッジなし・毎月決算クラス、クラスNJPHDJPYは、日本円建て為替ヘッジありクラス、クラスNUNHDJPYは、日本円建て日本円ヘッジなしクラス、クラスSUNHDJPYは、日本円建て・年2回決算クラスです。

投資有価証券明細表（要約版）
2023年12月31日現在

	償却原価 (日本円)	公正価値 (日本円)	対純資産%
コマーシャルペーパー			
その他	1,408,743,754	1,409,800,002	4.30%
コマーシャルペーパー合計	1,408,743,754	1,409,800,002	4.30%
変動利付債			
米国			
銀行	1,558,533,383	1,614,494,150	4.92%
資本市場	280,218,773	288,327,676	0.88%
電力	83,661,526	98,685,229	0.30%
情報技術サービス	141,488,282	148,343,076	0.45%
米国合計	2,063,901,964	2,149,850,131	6.55%
その他	195,183,580	205,046,509	0.63%
変動利付債合計	2,259,085,544	2,354,896,640	7.18%
モーゲージ			
米国			
自動車	25,298,971	27,016,310	0.08%
総合型金融サービス	10,462,299,152	11,370,245,218	34.65%
パーソナル用品	192,406,742	248,386,938	0.76%
貯蓄・抵当金融	4,349,163,616	4,813,856,074	14.67%
米国合計	15,029,168,481	16,459,504,540	50.16%
その他	763,773,803	856,163,580	2.60%
モーゲージ合計	15,792,942,284	17,315,668,120	52.76%
モーゲージ - TBA			
その他	798,597,566	791,832,817	2.41%
合計モーゲージ - TBA	798,597,566	791,832,817	2.41%
普通債券			
米国			
航空宇宙・防衛	159,123,827	161,416,845	0.49%
銀行	122,276,718	149,930,061	0.46%
バイオテクノロジー	86,887,226	91,063,935	0.28%
資本市場	114,568,399	114,285,465	0.35%
化学品	149,990,326	154,616,313	0.47%
建設・土木	108,641,962	125,566,112	0.38%
総合型金融サービス	464,709,771	480,811,723	1.47%
電力	461,636,592	477,555,716	1.46%
電子装置・機器・部品	12,524,271	13,879,605	0.04%
食品・生活必需品小売り	213,764,502	220,197,285	0.67%
食品	138,394,071	153,952,273	0.47%
ソブリン	5,995,153,984	6,052,376,496	18.44%

	償却原価 (日本円)	公正価値 (日本円)	対純資産%
普通債券			
米国			
ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	629,444,275	672,693,248	2.05%
保険	130,170,520	137,767,891	0.42%
情報技術サービス	220,444,700	235,790,534	0.72%
レジャー用品	375,535,260	407,414,713	1.24%
機械	58,007,652	62,894,587	0.19%
メディア	288,914,923	291,968,371	0.89%
石油・ガス・消耗燃料	324,544,088	354,501,205	1.08%
不動産投資法人	307,787,433	330,844,063	1.01%
不動産管理・開発	143,695,938	152,891,515	0.47%
半導体・半導体製造装置	335,482,395	345,613,706	1.04%
商社・流通業	143,640,787	154,546,798	0.47%
米国合計	10,985,339,620	11,342,578,460	34.56%
その他	296,265,983	317,213,155	0.97%
普通債券合計	11,281,605,603	11,659,791,615	35.53%
投資有価証券公正価値合計	31,540,974,751	33,531,989,194	102.18%

D I A M マネーマザーファンド

運用報告書

第15期 (決算日 2024年4月5日)

(計算期間 2023年4月6日～2024年4月5日)

D I A M マネーマザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
11期(2020年4月6日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	百万円 1,139
12期(2021年4月5日)	10,080	△0.1	62.4	—	—	1,064
13期(2022年4月5日)	10,071	△0.1	76.3	—	—	1,192
14期(2023年4月5日)	10,063	△0.1	71.8	—	—	1,253
15期(2024年4月5日)	10,055	△0.1	62.0	—	—	483

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

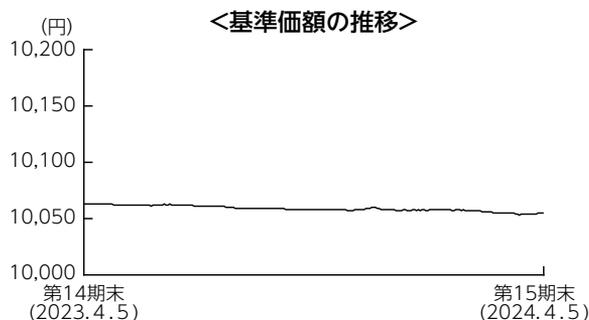
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2023年 4 月 5 日	10,063	% -		% 71.8		% -	% -
4 月 末	10,062	△0.0		71.8		-	-
5 月 末	10,062	△0.0		61.6		-	-
6 月 末	10,061	△0.0		61.6		-	-
7 月 末	10,060	△0.0		61.6		-	-
8 月 末	10,059	△0.0		61.6		-	-
9 月 末	10,058	△0.0		61.6		-	-
10 月 末	10,057	△0.1		61.6		-	-
11 月 末	10,058	△0.0		61.6		-	-
12 月 末	10,057	△0.1		60.2		-	-
2024年 1 月 末	10,057	△0.1		60.2		-	-
2 月 末	10,055	△0.1		60.1		-	-
3 月 末	10,054	△0.1		62.0		-	-
(期 末) 2024年 4 月 5 日	10,055	△0.1		62.0		-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2023年4月6日から2024年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,055円となり、前期末比で0.1%下落しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。日銀のマイナス金利政策の影響が大きく、基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

投資環境

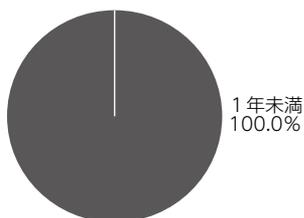
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは、日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、当期末にかけては、マイナス金利政策の解除を受けて上昇の動きとなり、利回りはプラス水準に転じる局面がありました。

ポートフォリオについて

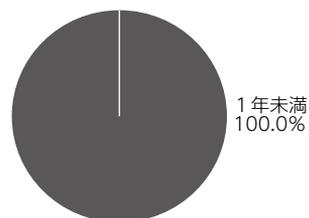
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比 期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀は2024年3月の金融政策決定会合で、マイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策の解除を決定しました。声明文で日銀は「現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。」としており、今後はプラス圏ながらも金利は低位で推移するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2023年4月6日から2024年4月5日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	500,341	600,273 (500,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年4月6日から2024年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期 区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公社債	百万円 500	百万円 200	%	百万円 600	百万円 -	%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	300,000	299,992	62.0	—	—	—	62.0
合 計	300,000	299,992	62.0	—	—	—	62.0

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
4 4 0 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	100,000	100,006	2024/09/01
4 4 1 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	100,000	100,004	2024/10/01
4 4 6 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	100,000	99,982	2025/03/01
合 計	—	300,000	299,992	—

■投資信託財産の構成

2024年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%	千円	%
	299,992	62.0	299,992	62.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	183,876	38.0	183,876	38.0
投 資 信 託 財 産 総 額	483,868	100.0	483,868	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	483,868,290円
コ ー ル ・ ロ ー ン	183,875,306
公 社	299,992,000
未 収 利 息	546
前 払 費 用	438
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	483,868,290
元 本	481,233,562
次 期 繰 越 損 益 金	2,634,728
(D) 受 益 権 総 口 数	481,233,562口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	10,055円

(注1) 期首元本額	1,245,658,613円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円
追加設定元本額	13,726,863円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円
一部解約元本額	778,151,914円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円
(注2) 期末における元本の内訳		ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,843,407円	PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジあり)	301,134円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,867,169円	PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジなし)	1,493,740円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,088,285円	One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (成長型)	9,943,324円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	98,095円	One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (毎月決算・予想分配金提示型)	1,988,665円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,959,763円	期末元本合計	481,233,562円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	48,517円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	11,377円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	98,027円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	494,102円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円		
グルーズコントロール	294,245,101円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円		
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円		
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円		
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円		
マシューズ・アジア株式ファンド	14,723,185円		
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円		
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円		
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円		
世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円		
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円		

■損益の状況

当期 自2023年4月6日 至2024年4月5日

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△54,712円
	受取利息		26,392
	支払利息		△81,104
(B)	有価証券売買損益		△502,000
	売却益		14,000
	売却損		△516,000
(C)	当期損益金(A+B)		△556,712
(D)	前期繰越損益金		7,856,815
(E)	解約差損益金		△4,744,512
(F)	追加信託差損益金		79,137
(G)	合計(C+D+E+F)		2,634,728
	次期繰越損益金(G)		2,634,728

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。